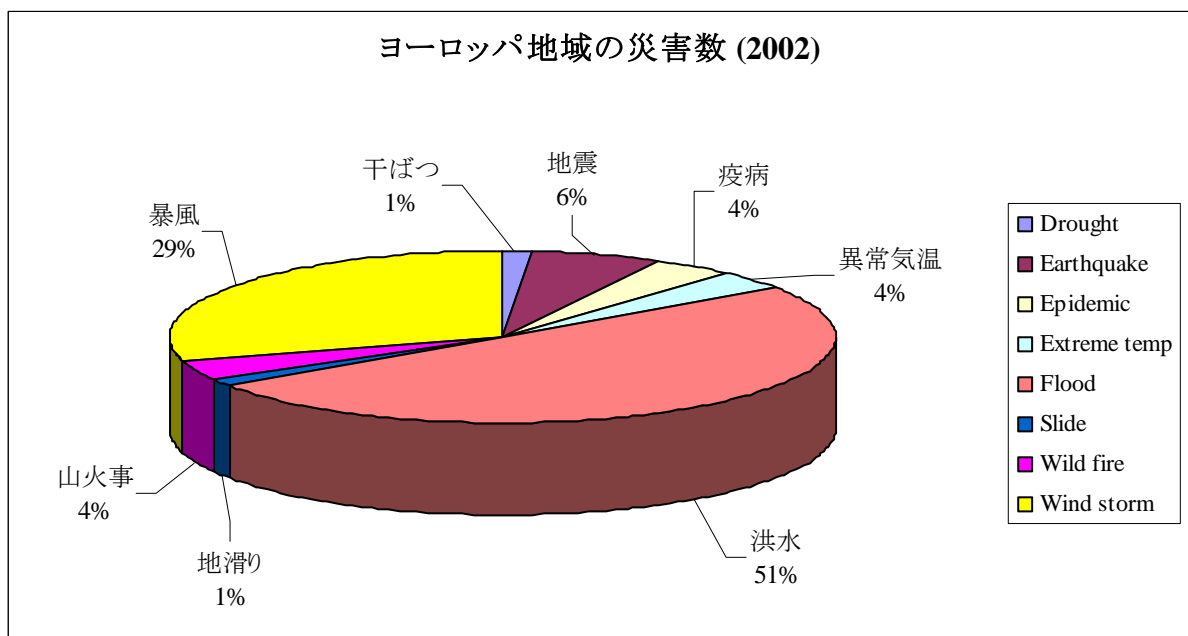


## 3.2.4 ヨーロッパ地域の特徴

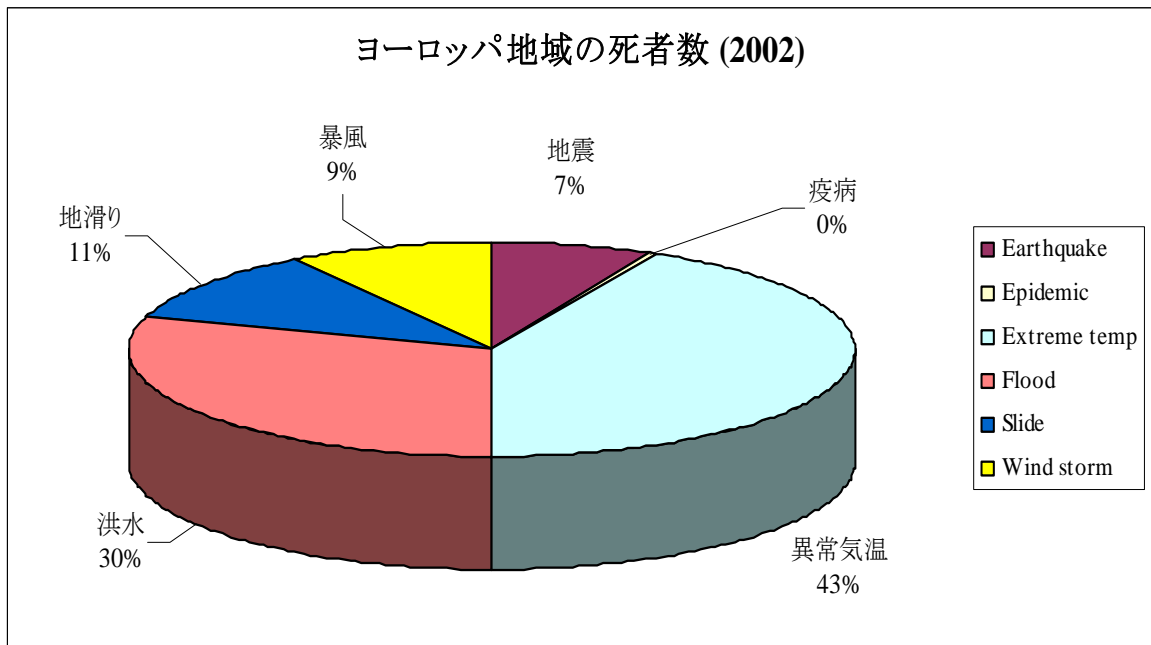
周知の通り、2002年のヨーロッパでは、洪水が壊滅的な被害をもたらした年となった。豪雨とそれが原因で発生した洪水により、深刻な人的・経済的損失が発生した。下記の図には明らかにこのような事実が反映されている。図 31 によれば、2002年の主な災害は暴風と洪水で、この二つで総災害数の80%を占めている。さらに人的損失の大多数は、異常気温、洪水、地滑り、暴風が原因となっている（図 32）。また、被災者数の96%近くが洪水と暴風によるものであることが図 33 からわかる。結論として、2002年はヨーロッパ地域にとって、気象災害による深刻な被害を受けた脅威の年であると言える。

図 31



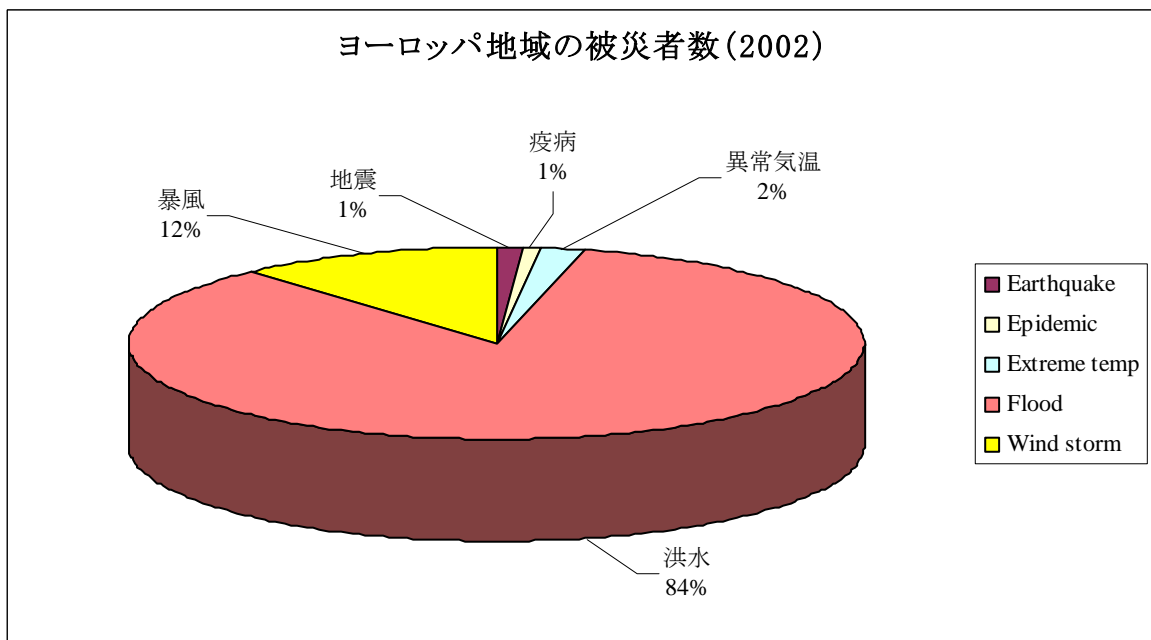
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 32



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 33



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）